

社会学研究科【学位授与の方針】

社会学研究科は、定められた課程を修め、以下の学習成果をあげた者に対して学位を授与する。

<教育研究上の目的(理念・目的)>

〔博士前期課程(修士課程)〕

博士前期課程においては、社会学および隣接諸科学の専門知識を深く修得し、現代社会に生起する諸現象、諸問題を分析し、洞察する能力を培った人材を養成することを目的とする。また、「専門社会調査士」資格取得のための教育をはじめ、フィールドワークにもとづく教育研究を重視し、専門的実践的能力及び調査研究に求められる倫理性を育成することによって、行政機関、専門機関、企業等において専門的な業務を担当できる人材を養成する。

〔博士後期課程〕

博士後期課程においては、社会学の諸領域および隣接諸科学の専門知識を体系的に修得し、各専門分野の研究を自立的に遂行できる能力を培った人材を養成することを目的とする。この目的を実現するために、専門的学識を充実させる研究指導とならび、調査研究を組織し指導するために求められる専門的実践的能力の育成を重視し、大学・高等教育研究機関等の研究・教育専門職をはじめ、高度の専門的業務に従事できる人材を養成する。

<学習成果(教育目標)>

〔博士前期課程(修士課程)〕

博士前期課程は、上記の目的に基づき、定められた課程を修め、研究指導を受けた上で修士論文(※)を作成提出し、その審査および最終試験に合格した者に対して修士(社会学)を授与する。

1. 社会学の諸領域及び隣接諸科学の学識を有し、現代社会に生起する諸現象・諸問題を分析し洞察し、その成果を表現する力があること。
2. そうした分析・洞察を可能にする、社会学及び隣接諸科学の方法に関する知識・技能を身につけていること。
3. 身につけた知識と技能を用いて、社会に貢献できる専門的実務者としての能力を有していること。
4. 研究者または職業人としての自覚を持ち、高い倫理観を身につけていること。

※修士論文の審査基準は以下のとおりとする。

下記の 3 つの条件を、論文提出者の専門分野における深い学識と研究能力を示す水準で達成していること。

1. 先行研究を十分にレビューした上で、適切な問題設定がなされている。
2. 適切に選択された方法によって得られた、十分な証拠と明確な論証とにもとづいて、設定された問題に関する必要な考察がなされている。
3. 図表、文献の引用、註等を含めて、論文が学術論文としての適切な体裁を備えている。

〔博士後期課程〕

博士後期課程は、上記の目的に基づき、定められた課程を修め、研究指導を受けた上で博士論文（※）を作成提出し、その審査および最終試験に合格した者に対して博士（社会学）を授与する。

1. 社会学の諸領域及び隣接諸科学の専門家としての高度な研究能力とその基礎となる豊かな学識を身につけていること。
2. 独創的な研究活動を遂行し、研究の成果を広く発表することにより優れた研究者として認められること。
3. 現代社会が直面する諸問題に学術的側面から取り組み、解決への道筋をつけていく力があること。
4. 研究者または職業人としての自覚を持ち、高い倫理観を身につけていること。

※博士論文の審査基準は以下のとおりとする。

下記の 3 つの条件を、論文提出者の専攻分野において研究者として自立した研究活動を行うに必要な高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識を示す水準で達成していること。

1. 先行研究を十分にレビューした上で、適切な問題設定がなされている。
2. 適切に選択された方法によって得られた、十分な証拠と明確な論証とにもとづいて、設定された問題に関する必要な考察がなされている。
3. 図表、文献の引用、註等を含めて、論文が学術論文としての適切な体裁を備えている。
なお、論文提出者は、学会誌掲載論文もしくはこれに準ずる業績を 1 編以上もつこと。